

事務事業評価シート

事業番号	3					
事業名	国際化の推進に係る経費(国際交流事業)	局名	総務局			
		部名	渉外部			
事業開始年度	不明(無錫友好都市締結は昭和60年)	課名	渉外課			
根拠法令等		課長名	小俣明宏			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 相模原市国際化推進委員会)					
	<input type="checkbox"/> 補助金(補助先:)					
	<input type="checkbox"/> その他()					
事業概要	目的 (何のために)	友好都市をはじめとした諸外国との相互理解を深め、国際交流と国際協力を図りながら、市の国際化を推進する。また、外国人の登録者数増加と定住化が進む中で、外国人市民と連携しながら共に地域社会を形成し、国籍を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりをすすめる。				
	対象 (誰・何を対象に)	市民及び友好都市をはじめとした諸外国				
	事業内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ○本市と友好都市を提携している中国無錫市、カナダ・トロント市及びトレイルとの交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・訪中団、訪加団の派遣や友好都市からの交流団受入れ対応 ○外国人市民に日本語を教える指導者(日本語ボランティア)への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語ボランティア養成講座の開催 ・ボランティア団体への日本語教材の貸与 ○本市に在住する外国人への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・通訳、医療通訳、翻訳ボランティアへの助成 ○外国語版パンフレット(市内案内マップ、くらしのガイド)の作成 ○国際化推進事業支援金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・国際化を推進する事業を行う市民団体に対する支援金の交付 ○国際交流員(CIR)による国際理解講座等の開催 				
	事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○友好都市をはじめとした諸外国との交流は、国際化に対応した都市づくりを目指すうえで、重要な取り組みとなっており、社会経済のグローバル化が進む中、世界規模で協力し合う共生時代へ対応していくために、国際交流・国際協力を推進する必要がある。 ○外国人登録者が1万人を超え、言語や文化の違いから暮らしにくさを感じている外国人市民に対して、快適に日常生活を送るための支援が必要になっている。 				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		5,531 千円	15,563 千円	27,613 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	2 人	2 人	2 人
			概算人件費	14,530 千円	14,530 千円	14,530 千円
		嘱託職員・臨時職員等	従事者数	0 人	1 人	1 人
			概算人件費	千円	3,038 千円	4,557 千円
	人件費 合計		14,530 千円	17,568 千円	19,087 千円	
	総事業費		20,061 千円	33,131 千円	46,700 千円	
市民一人あたりの事業費		0.03 千円	0.05 千円	0.06 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	千円	千円	7,000 千円	
	受益者負担金	千円	千円	千円	
	その他()	1,306 千円	4,256 千円	1,223 千円	
	一般財源	4,225 千円	11,307 千円	19,390 千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	友好都市等交流事業委託(ボランティア養成、通訳派遣含む)			4,098 千円	
	カナダ友好都市20周年記念事業			6,800 千円	
	くらしのガイド(外国語版)作成委託			4,000 千円	
	市内案内マップ(多言語版)作成委託			3,000 千円	
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	国際交流事業の実施数	回	12	18	20
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	1,671.8	1,840.6	2,335.0
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)				
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	<p>○通訳ボランティア・医療通訳ボランティア登録者数(目標値:平成31年度 180人) 通訳ボランティア・医療通訳ボランティアが増加することにより、暮らしやすさを感じる外国人市民が増えることを目標とするもの</p> <p>○友好都市の相互交流参加者数(目標値:平成31年度 220人) 友好都市交流事業に参加することで、国際理解が深まる人が増えることを目標とするもの</p> <p>○多文化理解を深めるため実施する事業参加者数(目標値:平成31年度 4,200人) 国際理解講座などの事業を行うことで、多文化理解を深める市民が増加することを目標とするもの</p>				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	通訳ボランティア・医療通訳ボランティア登録者数	人	117	122	163
	友好都市の相互交流参加者数	人	101	166	83
	多文化理解を深めるため実施する事業参加者数	人	3,360	3,730	3,800
特記事項 (事業の沿革等)	<p>H22からJETプログラム(外国語教育の充実と地域における国際交流の進展を目的に、昭和62年から開始された事業)により国際交流員を採用している(人件費・負担金:4,513千円)。 H23は地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を充当し、くらしのガイド・市内案内マップ(多言語版)を作成する。(7,000千円)</p>				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>国際化の推進については、友好都市との交流や日本語ボランティア養成など国際交流事業の充実に努め、多文化理解の推進、外国人市民も暮らしやすい環境づくりの推進に取り組んできた。今後は、これらの事業推進に加えて、世界規模で協力し合う共生時代に対応していくため、市民、企業、行政が共通認識のもと一体となって国際化対策を推進していく必要がある。</p>				
評価	《評価の視点》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない 			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	<p>本事業は、「新・相模原市総合計画」及び「さがみはら国際プラン」により推進している事業であり、多文化理解を深めるため実施する事業をはじめ各種事業への参加者数等が増加しているなど、一定の効果を上げているため、継続して実施していく。</p>			
H24年度 予算への反映	事業内容を精査しつつ、必要な予算を計上する。				
経営評価委員会 による意見	<p>●現状維持⇒見直し 国際化の進展に伴い、ますます重要性が高まっている事業であるが、相模原市が目指す国際化を明確化するとともに、それに基づく事業の再検討が必要である。例えば、友好都市交流事業について、時代に即したあり方について検討を進める必要がある。また外国語版暮らしのガイドや市内案内マップは、外国人だけではなく市民にとっても、密接なかかわりがある事業と認められることから、引き続き、こうした事業を通じて多文化共生のまちづくりを進めていただきたい。</p>				